

科目名	歴史Ⅱ History II			担当教員	與田 純		
学年	2年	学期	通年	履修条件	必修	単位数	2
分野	一般	授業形式	講義	科目番号	13120013	単位区分	履修単位
学習目標	我が国の歴史の展開を、我が国を取り巻く国際環境などとも関連づけながら世界史的視野に立って総合的に考察させ、我が国の文化、伝統の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力と国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養う。						
進め方	基本的に講義形式で進めるが、「ノートを取って、暗記する」だけの受動的な学習方法では試験に対応することはできない。学生諸君には、授業への積極的な参加を要求する。また、史料や絵画など多様な文献を読み解くことを通じて思考力を養い、音楽・映像教材などを用いて授業の理解を深めてもらう。						
学習内容	学習項目（時間数）			学習到達目標			
	1. 東アジアとウエスタン・インパクト(15) (1) 清朝と冊封体制 (2) 江戸幕府の特色と社会 (3) アヘン戦争とその衝撃 (4) ペリー来航 (5) 洋務運動と安政の改革 ----- [前期中間試験] (2)			清王朝と江戸幕府の特色を把握するとともに、欧米のアジア進出の原因とそれがアジア諸国に及ぼした影響、特にアヘン戦争の意義を説明できる。また、日中両国で同時期に展開された近代化政策の特色を理解できている。 学習・教育目標：A			
	2. 明治維新とアジア諸国の動向(15) (1) 倒幕運動 (2) 明治維新 (3) 「文明開化」と「富国強兵」 (4) 朝鮮開国と甲申事変 (5) 福沢諭吉の「脱亜論」 前期末試験			倒幕の経過の概要と重要事項を理解できている。明治維新以前と以後の近代化政策の相違点を説明できるとともに、その影響を受けた朝鮮の動向を押さえる。また、「脱亜論」が唱えられた時代状況を理解する。 学習・教育目標：A			
	3. 日清戦争とアジア諸国の動向(15) (1) 冊封体制の崩壊 (2) 日清戦争 (3) 植民地時代の台湾 (4) 大韓帝国と光武改革 (5) 変法運動と義和団事件 ----- [後期中間試験] (2)			日本の一連の植民地獲得戦争の過程を把握し、重要事項を説明できる。また日本の動向が諸外国に及ぼした影響を説明できる。朝鮮・中国での近代化運動の特色とその意義を理解できている。 学習・教育目標：A			
	4. 日露戦争とアジア諸国の動向(15) (1) 中国分割と日露戦争 (2) 日露戦争の衝撃 (3) 韓国併合 (4) 植民地時代の朝鮮 (5) 辛亥革命と中華民国の成立 後期末試験			日本の一連の植民地獲得戦争の過程を把握し、重要事項を説明できる。また日本の動向が諸外国に及ぼした影響を説明できる。中国における一連の政治的变化を理解できている。 学習・教育目標：A			
	試験返却(1)						
	評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・評価の内訳は、発表点と小テスト等を10%程度、定期試験結果を90%程度とする。 ・学習項目ごとの全体評価への重みは、1.～4.のそれぞれについて25%, 25%, 25%, 25%とする。 					
履修要件	特になし						
関連科目	歴史Ⅰ（1年） → 歴史Ⅱ（2年） → 人文科学Ⅲ（4年）						
教材	教科書：北村正義編『新編 世界の歴史』（学術図書出版） 歴史Ⅰの教材を引き続き使用し、日本史関連の詳細な資料はコピーで配布する。						
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・年度内追認試験は年度末に実施する（前期範囲と後期範囲を1回ずつ）。4回の定期試験の平均点が30点未満の者は受験できない。 ・単位追認試験は次年度の9月（前期範囲）と1月（後期範囲）に実施する。 						